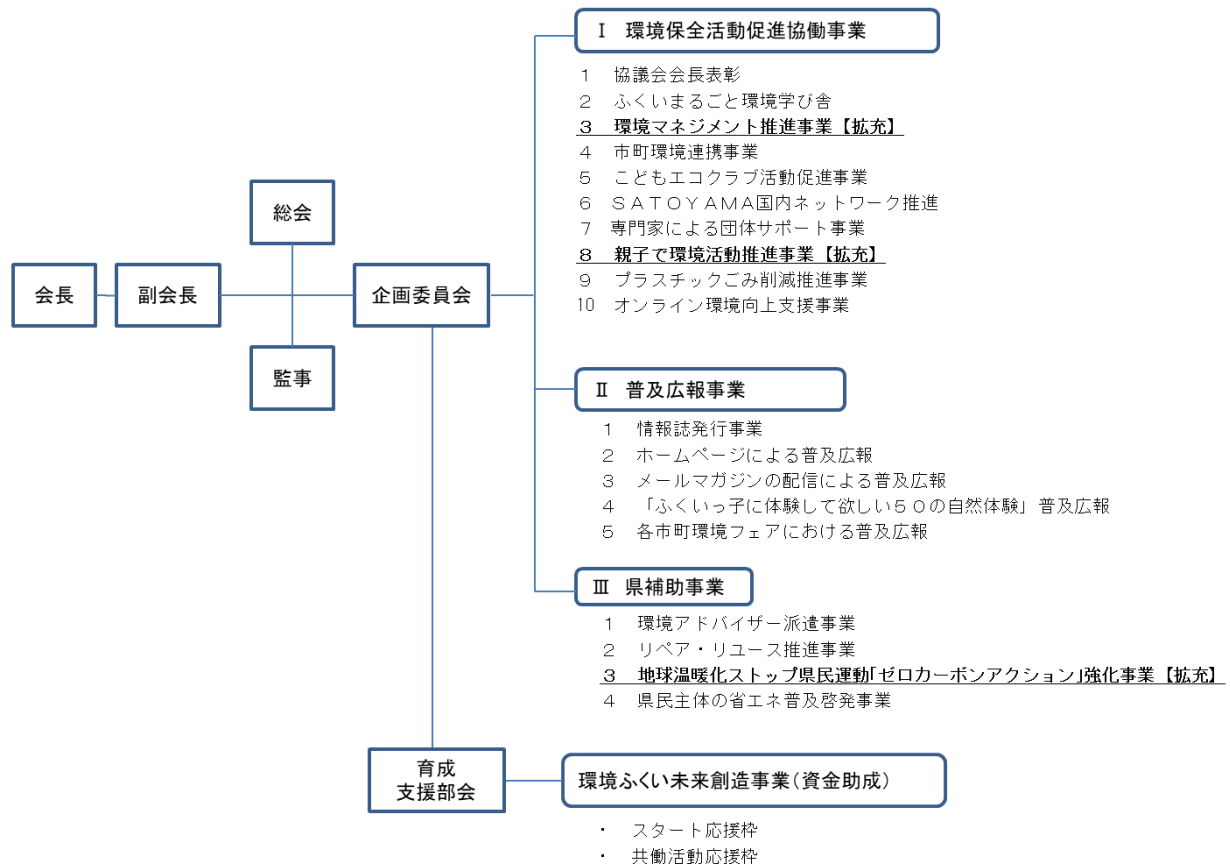


令和4年度 事業計画

環境ふくい推進協議会事業体系図



I 環境保全活動促進協働事業

1 協議会会長表彰

200 千円



[内容] 環境保全活動のより一層の推進を図るため、地道に環境保全活動に努められた団体等について総会時に表彰を行う。

2 ふくいまるごと環境学び舎

900 千円



[内容] より質の高く、効果の高い環境活動を行うため、環境について学ぶ講演、セミナー等を開催する。

3 環境マネジメント推進事業【拡充】

700 千円

[300 千円]



[内容] 次世代エネルギーである水素の利活用や、今後拡大が見込まれる次世代自動車の導入について、県内企業に普及推進するために、脱炭素に取り組む企業の見学会や基調講演などを実施する。

4 市町環境連携事業

900 千円



〔内容〕 市町および市町の推薦する民間団体が企画する事業に対しその一部を助成することにより、県内一円の環境保全活動の活性化を図る。

○助成要件

- ・環境保全に貢献する事業または県民の環境意識向上に寄与する事業
- ・事業費が5万円超
- ・各市町1件の枠

○助成額

- ・福井市：10万円
- ・その他の市町：5万円／件

5 こどもエコクラブ活動促進事業

100 千円



〔内容〕 こどもエコクラブへの登録を呼びかけるとともに、活動しているクラブへの支援を行い活動の活性化を図る。

○助成内容 壁新聞作成および活動に係る経費の支援

○助成額 1万円／クラブ 10クラブ

6 SATOYAMA国内ネットワーク推進

100 千円



〔内容〕 本県の里山里海湖における生物多様性の保全や利活用の活動を国内のネットワークを通じて県外へアピールする。

7 専門家による団体サポート事業

500 千円

[1,000千円]



〔内容〕 団体の活動内容向上のため、必要とする専門家を協議会が派遣し、一定期間、活動をサポートする。

○助成対象 団体会員

○専門家の分野 司法書士、行政書士、中小企業診断士、マネジメント、ICT等

○派遣回数 最大5回（派遣にかかる謝金は環境ふくい推進協議会が負担）

8 親子で環境活動推進事業 【拡充】

500 千円

[400千円]



〔内容〕 小学生の親子を対象に、『50の自然体験』に関連する自然体験イベントを実施する。

イベントにおいては『ふくいっ子に体験してほしい50の自然体験』に追加した「地球温暖化を防ぐ10のできるごと」について考える機会をあわせて提供する。

9 プラスチックごみ削減推進事業

300 千円

[150 千円]



[内容] 近年大きな問題となっているプラスチックごみの削減のため、身近にできる取り組み事例の情報提供などを行うセミナーを開催する。

10 オンライン環境向上支援事業

500 千円

[1,000 千円]



[内容] 団体の「新しい生活様式」に対応した活動を支援するため、オンライン環境の向上に対する助成を実施。助成団体からは、活動の様子等の動画を協議会に提供してもらい、協議会からもフェイスブックページ等で発信。

○助成対象 団体会員、企業会員

○助成内容 オンライン活動に要する機器等の購入・レンタル費用への助成
(助成対象のうち汎用性の高い「パソコン、タブレット、スマートフォン」を削除)

○助 成 率 購入費用の場合 1 / 2、レンタル費用の場合 全額(上限10万円)

II 普及広報事業

3,660 千円

[2,660 千円]



1 情報誌発行业

[内容] 環境問題や環境教育に関する情報、事業者やボランティア団体等が行う環境保全活動などを紹介する情報誌を発行する。

発行回数 1 回

発行部数 3,000 部

配 布 先 協議会会員、小・中・高等学校、図書館、公民館 等

2 ホームページ等による普及広報

[内容] ホームページや Facebook を活用し、お知らせやイベント情報を積極的に発信していく。また、会員の活動動画等をフェイスブックページや YouTube チャンネル等で発信する。

また、セキュリティと安定性の向上のため、ホームページを管理するサーバーの変更するとともにスマートフォン画面へ対応する。

3 メールマガジンの配信による普及広報

[内容] メールマガジンにより、幅広く環境保全活動情報の提供を行う。

4 「ふくいっ子に体験して欲しい50の自然体験」普及広報

〔内容〕 県・教育委員会と連携し、ふくいの子どもたちに体験させたい50の自然体験項目についてのガイドブックのさらなる普及を図る。

発行部数 7,000部

配布先 小学校、環境フェア 等

5 各市町環境フェアにおける普及広報

〔内容〕 県内で開催される各市町の環境フェアにブース等を出展し、環境について県民に考えてもらう機会を提供するとともに、環境ふくい推進協議会の周知を図る。

Ⅲ 県補助事業

1 環境アドバイザー派遣事業

1,196千円



〔内容〕 事業者、団体、学校、自治会等が開催する研修会へ講師（環境アドバイザー）を派遣する。

2 リペア・リユース推進事業

492千円

〔694千円〕



〔内容〕 壊れたものを修理して使う、いらなくなったものをほしい人に譲るなど、修理する文化、リサイクル文化の定着を目指した取組みを実施する。

- (1) 古本市、おもちゃの病院、おもちゃドクター養成講座、洋服・ぬいぐるみお直し隊養成講座などの開催
- (2) 自主的なリユース行事を開催する団体の支援

3 地球温暖化ストップ県民運動「ゼロカーボンアクション」強化事業

16,159千円

〔16,923千円〕



〔内容〕 地球温暖化ストップ県民運動「ゼロカーボンアクション」をさらに推進し、節電などを実践するゼロカーボンアクションの輪を広げる。

- (1) 統一行動日(エコチャレふくいの日)を設定し、地球温暖化防止活動を推進
家庭の日(毎月第3日曜日)を統一行動日に設定し、季節ごとのテーマに沿ったエコな取り組みを多くの県民の参加を得ながら実施
- (2) クール（ウォーム）シェアの実施
夏（冬）に涼しい（暖かい）場所を提供するシェアスポットで滞在した県民に対し、QRコードを活用したスタンプラリーを実施
- (3) 省エネ家電・住宅設備買替キャンペーン事業の実施
省エネ性能の高い家電（3つ星以上）への買替や、窓や壁・天井の断熱改修を呼びかけることにより、家庭の消費電力抑制を促す取組みを推進

(4) ZEH（ネット・ゼロ・エネルギーハウス）の普及啓発
住宅展示場でZEH普及イベントを開催し、ZEHのメリットを周知

(5) スマートムーブキャンペーンの実施【拡充】

車から自転車や公共交通機関へのシフトの呼びかけや、エコドライブコンテスト、次世代自動車体験会など、“移動をエコ”にするキャンペーンを実施し運輸部門のCO₂削減を推進

4 県民主体の省エネ普及啓発事業

649 千円

[674 千円]



〔内容〕 若者を中心とした省エネ普及啓発活動を行う省エネ活動推進グループの自主的な活動を支援。

令和元年度に開発したカードゲームをイベント等で活用するなどの省エネ活動の普及や、若者の視点やアイデアを生かした省エネ対策を支援しSNS等で発信する等。

IV 環境ふくい未来創造事業

〔特別会計〕 5,732 千円

[5,895 千円]



〔内容〕 県民・事業者等から提供された資金により、福井県環境基本計画を推進する活動を行う団体へ助成する。

○スタート応援枠

・助成対象 団体を立ち上げてから5年未満の団体、もしくは、新しく事業を立ち上げる団体

・助成額 上限10万円／年（最長3年まで助成）

○共働活動応援枠（助成額上限30万円、最長2年）

・助成対象 新たに他団体または企業と共働して活動する団体もしくは企業

・助成額 上限30万円／年（最長2年まで助成）

V 会議等

下記のとおり会議を開催する。

1 総会

内 容 : 令和3年度事業報告および収支決算報告について
令和4年度事業計画（案）および収支予算（案）について

2 企画委員会（4回程度開催予定）

3 育成支援部会（2回程度開催予定）